

地域美術館 at きつき城下町資料館

「杵築の美術と風土 -大分県立美術館コレクション-」開催のお知らせ

地域美術館 at きつき城下町資料館

**杵築の
美術と風土**

— 大分県立美術館 コレクション —

2023年
10月5日 木 - 24日 火 [休館日] 水曜日

会場
きつき城下町資料館
2階 企画展示室

左) 福田平八郎スケッチ《蜜柑》1956年
右) 福田平八郎スケッチ《オニオコゼ・サザエ》(部分)1954年
下) 高山辰雄
《限りなき大分空に映ゆる(由布・鶴見・別府)》1981年

大分県立美術館は、大分県ゆかりの美術家を中心として、5000点を超える多様な美術作品、資料を収蔵しています。当館では「地域美術館」と称して、こうした収蔵品を県内地域で展示し、その地域に関わる美術や歴史等を学び、楽しむ機会を提供する展覧会を実施しています。R5年度は杵築市の「きつき城下町資料館」にて開催いたします。

本展では、杵築で南画をひろめた杵築藩士の十市石谷（1793-1853）や、杵築の商屋に生まれ、田能村竹田の高弟となった高橋草坪（1804-1835）など、江戸後期の画家たちが描く山水画や花卉図をはじめ、杵築の海の幸や山の幸など、豊かな風土を髣髴させる日本画家・福田平八郎（1892-1974）のスケッチ、戦後の日展で活躍した日本画家・高山辰雄（1912-2007）による別府湾の風景版画、地元大分の県美展を牽引した日本画家・田川奨（1915-1994）、洋画家・多邨常（1925-2006）、さらには網代編を得意とした竹工芸作家・市原華雲齋（1916-1995）など、近世から近現代まで、多彩な作品を紹介します。展示作品を通して、皆様に郷土の豊かさや新たな視点を示すことができれば幸いです。

【開催概要】

企画名 地域美術館 at きつき城下町資料館

「杵築の美術と風土 -大分県立美術館コレクション-」

会期 2023年10月5日(木)～10月24日(火)10時～17時（入場は16時30分まで）

休館日 水曜日

会場 きつき城下町資料館 2階 企画展示室 〒873-0002 杵築市南杵築193番地1

観覧料 一般300円(240円) 小・中学生150円(120円)

※きつき城下町資料館の入館料が発生します。※()内は30名以上の団体料金です。

主催 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

共催 杵築市、杵築市教育委員会



福田平八郎スケッチ《蜜柑》1956年



高山辰雄《限りなき大分 空に映ゆる(由布・鶴見・別府)》1981年



福田平八郎スケッチ《オニオコゼ・サザエ》
1954年



河井寛次郎《小鹿田焼 茶碗》1954年



河合誓徳《みかん畑》2003年

【関連イベント】

■ギャラリートーク

日 時 10月8日(日) 14:00~15:00

講 師 柴崎香那(大分県立美術館学芸企画課学芸員)

※事前申し込み不要。参加費無料(※きつき城下町資料館の入館料は必要)

地域美術館 at きつき城下町資料館 「杵築の美術と風土 -大分県立美術館コレクション-

■問い合わせ

公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館

学芸担当：宗像、柴崎

広報担当：渡邊、山口

Tel: 097-533-4500 Email: info@opam.jp